

フードバンク山梨では山梨大学で実施する以下の研究に協力します

研究の題名：山梨県生活困窮世帯乳幼児健康調査

研究期間：医学部附属病院長の許可日～2023年3月31日

研究責任者：山梨大学医学部社会医学講座 教授 山縣然太郎

山梨大学医学部では、上記課題名の研究を行います。「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成29年5月30日施行）に基づき、匿名化された既存情報（フードバンク山梨実態調査の情報）の研究利用について、以下に公開いたします。

【研究の目的と意義について】

乳幼児の生活困窮を含む養育環境が、子どもの健康・発育・発達における諸問題にどのように関連しているかを明らかにし、地域に還元することを目的とします。

【研究の方法について】

2018年10月～現在までに、フードバンク山梨が山梨県内のフードバンク利用世帯の利用者を対象として行った実態調査から得た情報を、フードバンク山梨で誰のデータか分からなくした（匿名化といいます）上で山梨大学に提供し、山梨大学で子どもの健康・発育・発達の状況とその関連要因を明らかとすることを目的とした解析を行います。

【利用する情報について】

〈対象となる方〉

2018年10月～現在までに、フードバンク山梨が山梨県内のフードバンク利用世帯の利用者を対象として行った実態調査に協力した方

〈利用する情報・項目〉

情報：フードバンク山梨実態調査から得られた情報

- ① お子さんおよび養育者の基本属性：年齢、性別など
- ② お子さんの健康状態（身体計測含む）
- ③ 養育者の生活習慣と健康状態
- ④ 世帯の生活困窮について

なお、この研究に必要な情報は、すべてフードバンク山梨実態調査より取り出しますので、改めて回答していただくことはありません。

【情報を利用する者の範囲について】

この研究において取得する情報の利用者は、山梨大学医学部社会医学講座の研究者のみです。

【個人情報の取扱いについて】

収集したデータは、フードバンク山梨で匿名化した上で山梨大学に提供され、山梨大学で統計的処理を行います。国が定めた倫理指針（「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」）に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

【利益相反について】

この研究は、山梨大学で管理されている研究費を用いて実施いたします。この研究のために、企業等からの資金提供はありません。したがって、この研究の計画、実施、発表に関して可能性のある利益相反は存在しません。また、研究責任者及び分担研究者は、利益相反について本学医学研究利益相反審査委員会に申告し、適切な実施体制であることの審査を受けております。

【お問い合わせ等について】

この研究へのご協力は、フードバンク山梨を利用する皆さんご自身の自由意思に基づくものです。この研究への情報提供を希望されないことをお申し出いただいた場合、その方の情報は利用しないようにいたします。ただし、お申し出いただいた時に、すでに研究結果が論文などで公表されていた場合には、完全に廃棄できないことがあります。情報の利用を希望されない場合、あるいは不明な点やご心配なことがございましたら、ご遠慮なく下記連絡先まで、メール又はFAXにてご連絡ください。この研究への情報提供を希望されない場合でも、フードバンク山梨の利用上何ら支障はなく、不利益を被ることはありません。

また、フードバンク山梨を利用する方や代理人の方のご希望により、この研究に参加して下さった方々の個人情報および知的財産の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことや文書でお渡しすることができます。希望される方は、以下までメール又はFAXにてご連絡ください。

〈お問い合わせ等の連絡先〉

山梨大学医学部社会医学講座

助教 小島令嗣

メールアドレス：kojimar@yamanashi.ac.jp

FAX：055-273-9566